歴史の里ウオーク

常陸太田市

勾配少なく道標や史跡充実

光圀が愛した梅が咲く西山荘

健康はつらつハイキング

ようやく春の訪れを感じられるようになったこのごろ、ウオーキングに出掛けてみませんか？　今回は常陸太田市の「歴史の里ウオーク」を紹介する。このコースは日本ウオーキング協会の「歩きたくなる道500選」に選ばれた道の一部で、勾配が少なく、道標や史跡の説明板が充実している。徳川光圀が隠居生活を送った西山荘では梅が見ごろだ。（西内）

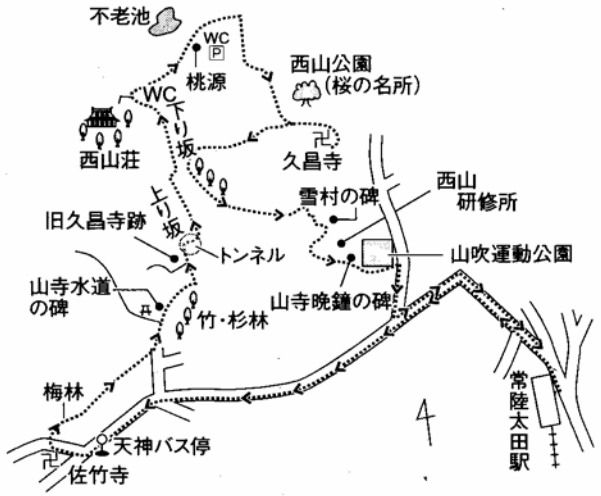
JR常陸太田駅を降り、佐竹寺を目指しスーパーかわねやの方向に歩く。40分ほど歩くので、余力を残したい人はタクシーを使うのも手だ。車で来る人は山吹運動公園駐車場に車を置くとよい。佐竹寺は、鎌倉時代から江戸時代にかけて常陸国を支配した佐竹氏代々の祈願所で、985年に創建された。国指定重要文化財である。

佐竹寺を出て、左に20㍍ほど歩き右折する。のどかな田園風景を見ながら500㍍ほど歩き、T字路を左折し少し行くと、「山寺水道の碑」がある。山寺水道は、旧久昌寺に飲料水を供給するために敷かれた上水道施設の遺構で、県指定の史跡である。ここから、山際に沿って坂を300㍍ほど下ると田畑が開ける。山沿いに左折すると道標があり、その先を直進すると案内板のある分岐に出る。

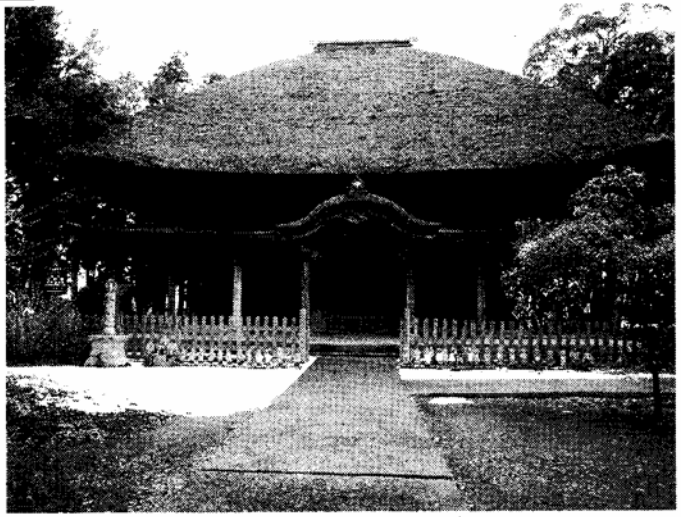
少し坂道を登ると、旧久昌寺跡にたどり着く。久昌寺は、徳川光圀の生母・谷久子の菩提寺だ。ここから右に歩き、トンネルへ入る。トンネルは始めのうちは出口が見えず「洞くつかな？」と思うが、しばらく歩いていくと反対側から光が差し込んでいるのが見えるのでご安心を。

トンネルを抜け、落ち葉を踏みしめながら山道を登ると尾根上の林道に突き当たる。道標に従い西山荘の方へ右折。しばらく歩くとまた西山荘への道標があるので左に曲がり、沢沿いの坂を下りきるとやっと山道を抜け、西山荘入口にたどり着く。

西山荘は徳川光圀が隠居生活を送った場所だ（入場料735円）。かやぶき平屋建ての質素な造りではあるが、光圀が愛した好文木（梅）が咲き、春にはこけの緑、藤、シャガなどが美しく、人々を魅了する。今歩いた旧久昌寺から西山荘までの道は、光圀公が母親の墓参りのために毎日散歩した道である。



西山公園からの山道


国指定重要文化財の佐竹寺

西山荘から休息施設「桃源」を結ぶ池や橋を配した約8000平方㍍の庭園は、3月上旬には約70本の紅白の梅が咲き、13日（日）には梅まつりが行われる。4月上旬には桜が、6月中旬から下旬には、約15種類3000株の花菖蒲を満喫できる。自然に囲まれた茶室「晏如庵」で飲む抹茶は心が安らぐ。

桃源から舗装道路を東に歩き、西山公園へ。西山公園では、4月上旬に約1500本の桜が咲く。家族で弁当を広げて花見を楽しむ人も。頂上の展望所から見下ろす満開の桜は圧巻だ。遠く久慈の山並みや常陸太田市を見渡せ、人々を魅了してやまない。時間に余裕があれば、久昌寺を参拝してみよう。

西山公園の頂上から西の方に山道を一度登ってから下ると「西山研修所」「旧久昌寺跡」の道標がある。左折し、少し行くと先ほどの西山荘の分岐の手前に出る。「山寺晩鐘の碑700㍍」の道標に沿って左折し、尾根上の林道を道なりに歩く。「山寺晩鐘の碑」「西山研修所」の道標と右へ下る山道があり、そこを下るとすぐ舗装道路にでる。すぐ左手に「西山研修所」の看板があり、Y字路を戻るように入ると10㍍ほどで左手に登る階段がある。階段を登りきると「雪村の碑」だ。雪村周継は室町時代末期に活躍した水墨画家。西山公園から雪村の碑までは分岐が多いので、道標に注意して歩こう。

雪村の碑を通り過ぎ、階段を下り、舗装道路を歩くと西山研修所に着く。「山寺晩鐘の碑」の道標に従い研修所の本館に沿って歩くとたどり着く。山寺晩鐘の碑は、徳川斉昭公によって選定された水戸八景の一つ。ここから階段を下りきると山吹運動公園に戻る。

常陸太田駅からの歩行時間は約3時間。山吹運動公園横にはそば店「越路」がある。また、常陸太田駅は26日（土）にリニューアルする。

問い合わせは常陸太田市商工観光課☎0294・72・3111